

# Risk Flash No.158

## (Vol.4 No.48)

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター  
 発行責任者：リスク研究センター長 久保英也  
 〒522-8522 滋賀県彦根市馬場 1-1-1 TEL:0749-27-1404  
 FAX:0749-27-1189 e-mail: [risk@biwako.shiga-u.ac.jp](mailto:risk@biwako.shiga-u.ac.jp)  
 Web page: <http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2>

- ご挨拶:学部長退任にあたって.....Page 1
- リスク研究センター通信.....Page 2

### ご挨拶

#### 学部長退任にあたって

うめざわなおき  
 経済学部長 梅澤直樹

3月末をもって任期満了を迎えるにあたり、お世話になった方々に一言御礼申し上げるとともに、いま感じているところを少しお伝えしたく思います。

まず、昨年がちょうど創立90周年にあたったということで、とりわけ陵水会の皆様にはお世話になりました。企業献金、個人献金とも厳しくなっている状況のなかで、目標通り5,000万円近くの献金を集めてくださった陵水会の底力にあらためて敬意を表すると同時に、先頭に立って奔走くださった理事長や支部長など幹部の方々には厚く御礼申し上げます。献金はリスク研究センターの活動を支えるファンドとして大切に使用させていただき、社会的に広く認知されるような、尖ったリスク研究を育てていくべく努めます。また、そのために、皆様が培われた経験や人脈による支援を求めることもあるかと思えます。その節にはどうぞよろしくお願い申し上げます。

一方で18歳人口が減少してゆき、他方で財政状況が厳しいなかで、しかもますます厳しくなるグローバル競争を勝ち抜くために大学に対する産業界からの期待が高まっていて、国立大学法人に対しては、組織再編を含む大きな改革をスピード感をもって達成すべしという圧力が強まっています。率直に言って、こうした改革圧力には首肯しうるところも首肯しがたいところもあります。これまで本学部は志願倍率が高く、就職決定率も全国の経済学部のなかで高位をキープしていて、不本意な圧力にはそれなりに抗しえたのですが、つい先日の後期入試で大きく志願者を減じてしまいました。最大の要因は、ゆとり学習世代の最後に位置する今年度の受験生の安全志向だと考えられます。つまり、旧帝大や一橋大学などと比較したとき、リスクをおかして敢えてチャレンジする対象ではない。だが、いわゆるすべり止めとしてはややリスクが高いので、もう少し下位の経済学部を選択しようというわけです。したがって、本学部の評価が大きく低下したといったことではないのですが、安全志向が高まれば志願者が減ってしまうという位置に甘んじていてよいのかという課題をあらためて突きつけられました。これまでも、充実したコア科目(基軸科目)教育の手厚い実施、学生の自主的、主体的学習意欲を引き出すためのさまざまな試みなど、経済学部として先駆的な教育に意欲的に取り組んできましたし、来年度からは小規模ながらグローバル人材育成コースもスタートさせますが、こうした取り組みを学部構成員が一丸となって拡充し、かつて3商大、3高商と並称されたような独自の存在感ある経済学部として復活できればと念じています。今後とも本学部の成長を温かく見守り、ご支援くださることを心よりお願い申し上げます。

## リスク研究センター通信

### ●平成25年度滋賀大学経済学部謝恩会が開催されました

3月26日(木)16時30分から、卒業式に続いて彦根ビューホテル(彦根市松原)において経済学部謝恩会が開催されました。梅澤経済学部長や戸田陵水会会長らの挨拶を緊張した面持ちで聞いていた卒業生ら400名の顔つきが乾杯の発声と共に一瞬にして学生らしい表情に変わったのが印象的でした。その学生らしい表情も今日限りかもしれません、希望に輝くきらきらとした瞳は永遠に続いて欲しいと全教員が思ったに違いありません。

また、各テーブルは女子学生の華やかな衣装と教員と話しこむ男子学生の姿にあふれ、会場は熱気に包まれました。壇上で写真撮影を希望するゼミナールやクラブが相次いで登壇し、2年間の友情と感謝を再確認するように記念写真に納まっていました。

最後に、全員が一つの大きな円陣を組み高商校歌を斉唱し、2時間に及ぶ謝恩会は無事終了しました。会場には、全員が必ずどこかで再会するような余韻が残りました。

久保英也リスク研究センター長



### ●平成26年度滋賀大学公開講座募集のご案内

滋賀大学では、本学の専門的、総合的な教育機能を社会に開放し、一般教養を身につけるための学習の機会を広く皆様へ提供することにより、地域の人々との交流を深め、開かれた大学を目指して公開講座を開設しています。26年度も「証券投資の基礎ーリスクとの上手なつきあい方ー」「三方よし!ウォーター・マーケットの可能性」をはじめ多数の講座を用意しています。

各講座の募集要項詳細は、こちらをご覧ください。

[http://www.shiga-u.ac.jp/research\\_cooperation/seminar/open\\_seminar/](http://www.shiga-u.ac.jp/research_cooperation/seminar/open_seminar/)

#### 【お申し込み・お問い合わせ先】

○ 滋賀大学 学術国際課 社会連携推進係

Eメール [koukai@biwako.shiga-u.ac.jp](mailto:koukai@biwako.shiga-u.ac.jp)

電話 0749-27-7521 (平日 10:00~17:00)

### 「リスクフラッシュご利用上の注意事項」

本規約は、滋賀大学経済学部附属リスク研究センター（以下、リスク研究センター）が配信する週刊情報誌「リスクフラッシュ」を購読希望される方および購読登録を行った方に適用されるものとします。

#### 【サービスの提供】

1. 本サービスのご利用は無料ですが、ご利用に際しての通信料等は登録者のご負担となります。
2. 登録、登録の変更、配信停止はご自身で行ってください。

#### 【サービスの変更・中止・登録削除】

1. 本サービスは、リスク研究センターの都合により登録者への通知なしに内容の変更・中止、運用の変更や中止を行うことがあります。
2. 電子メールを配信した際、メールアドレスに誤りがある、メールボックスの容量一杯になっている、登録アドレスが認識できない等の状況にあった場合は、リスク研究センターの判断により、登録者への通知なしに登録を削除できるものとします。

#### 【個人情報等】

1. 滋賀大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第59号）に基づき、「国立大学法人滋賀大学個人情報保護規則」を定め、滋賀大学が保有する個人情報の適正な取扱いを行うための措置を講じています。
2. 本サービスのアクセス情報などを統計的に処理して公表することがあります。

#### 【免責事項】

1. 配信メールが回線上的の問題（メールの遅延、消失）等によりお手元に届かなかった場合の再送はいたしません。
2. 登録者が当該の週刊情報誌で得た情報に基づいて被ったいかなる損害については、一切の責任を登録者が負うものとします。
3. リスク研究センターは、登録者が本注意事項に違反した場合、あるいはその恐れがあると判断した場合、登録者へ事前に通告・催告することなく、ただちに登録者の本サービスの利用を終了させることができるものとします。

#### 【著作権】

1. 本週刊情報誌の全文を転送される場合は、許可は不要です。一部を転載・配信、或いは修正・改変してblog等への掲載を希望される方は、事前にご下記へお問い合わせください。

\*尚、最新の本注意事項はリスク研究センターのホームページに掲載いたしますので、随時ご確認願います。

■ <http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2/3:12> )

\*当リスクフラッシュをご覧頂いて、関心のある論文等ございましたら、下記事務局までメールでお問い合わせください。

**発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター**  
**編集委員：ロバート・アスピノール、大村啓喬、**  
**金秉基、久保英也、柴田淳郎、**  
**得田雅章、宮西賢次、山田和代**

**滋賀大学経済学部附属リスク研究センター事務局**  
(Office Hours:月一金 10:00-17:00)  
〒522-8522 滋賀県彦根市馬場 1-1-1  
TEL:0749-27-1404 FAX:0749-27-1189  
**e-mail: risk@biwako.shiga-u.ac.jp**